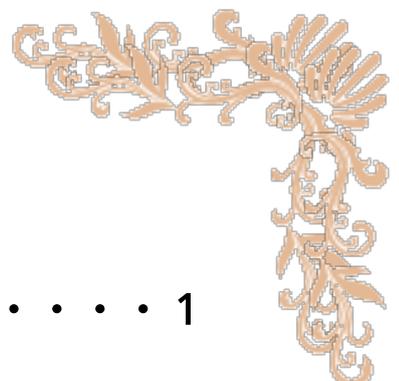


平成27年度（2015年度）  
バリアフリー・ユニバーサルデザイン  
推進功労者表彰  
受賞事例集



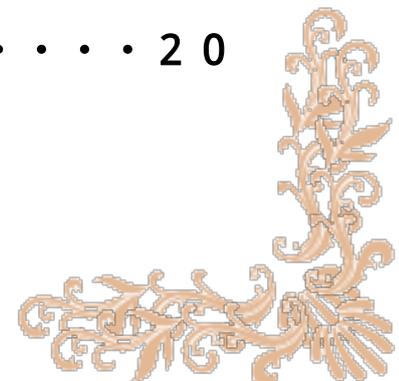
内閣府





## 目次

刊行にあたって	1
選考委員会委員長講評	2
内閣総理大臣表彰（1件）	
（団体）	
株式会社オーエックスエンジニアリング	3
内閣府特命担当大臣表彰	
優良賞（4件）	
（団体）	
公益財団法人横浜市芸術文化振興財団	
横浜能楽堂	5
川端鉄工所株式会社	7
株式会社主人公	9
地域共生型福祉施設整備協議会	11
過去の受賞者一覧	13
バリアフリー・ユニバーサルデザイン	
推進功労者表彰要領	19
選考委員会委員名簿	20



# 平成27年度 バリアフリー・ユニバーサルデザイン 推進功労者表彰受賞事例集の刊行にあたって

内閣府では、バリアフリー・ユニバーサルデザインに関する優れた取組を広く普及させることを目的として、バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰を実施いたしました。

この表彰は、高齢者、障害者、妊婦や子供連れの人を含むすべての人が安全で快適な社会生活を送ることができるよう、ハード、ソフト両面のバリアフリー・ユニバーサルデザインを効果的かつ総合的に推進する観点から、その推進について顕著な功績又は功労のあった個人又は団体を表彰するものです。

関係府省庁、都道府県、政令指定都市を通じて推薦のあった23件の事例のうち、今年度は、内閣総理大臣表彰1件、内閣府特命担当大臣表彰優良賞4件が選考され、表彰式において、加藤内閣府特命担当大臣からそれぞれ表彰状を授与されました。

国など行政だけではバリアフリー・ユニバーサルデザインを普及させることはできません。関係機関、関係者が広く本事例集を活用され、様々な分野においてバリアフリー・ユニバーサルデザインへの理解と関心を深め、「国民一人一人が自立しつつ互いに支え合う共生社会の実現」を目指した心温まる活動の輪が広がっていく一助となりますことを期待いたします。

平成28年2月  
内閣府



平成27年度（2015年度）バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰式  
開催日：平成27年（2015年）12月24日（木）  
開催場所：中央合同庁舎第8号館 講堂

## 講 評

バリアフリー・ユニバーサルデザイン  
推進功労者表彰選考委員会

委員長 高橋 儀平



平成27年度バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰を受賞された皆様、誠におめでとうございます。

平成27年度のバリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰には全国から「施設整備」6件、「製品開発」4件、「活動等」13件、計23件の応募がありました。いずれも優れたものばかりで、ご推薦いただいた関係省庁、各都道府県・政令指定都市の皆さまに深くお礼申し上げます。第1次審査では各推薦団体から提出された応募書類により各選考委員が書面上で予備審査を行いました。その結果を基に選考委員会で慎重に協議し、計8件の現地調査候補を選考しました。現地調査では各推薦団体から提出されていた応募書類の事実確認、施設や製品、活動の現状確認、追加ヒアリング等を行いました。最終選考委員会では各委員からの現地調査報告を基に厳正な審議を経て下記5件を今年度の表彰団体として決定しました。

内閣総理大臣表彰を受賞された「株式会社オーエックスエンジニアリング」は長年に渡り緻密なデータの蓄積と解析によって、独自の車いす設計プロセスを考案、多くの世界的トッププレイヤーの競技用車いすを開発した功績が極めて高く評価されました。内閣府特命担当大臣表彰優良賞は4団体を受賞されました。「公益財団法人横浜市芸術文化振興財団 横浜能楽堂」は、様々な障害者が「能」・「狂言」を楽しむ「バリアフリー能」を毎年開催し、ハード、ソフト両面におけるサポートにより能の魅力を伝える継続的な活動が高く評価されました。「川端鉄工所株式会社」は、利用者の身体特性に合わせて高さや方向を自由自在に調整できる基盤技術「定圧ボールジョイント」を開発し、多様な製品に応用され商品化されていることが高く評価されました。「株式会社主人公 風の子スクエア」は、既存店舗を積極的にリノベーションし特別支援学校卒業後の就労支援の場の一つである障害者の就労継続支援事業所を展開する挑戦が高く評価されました。「地域共生型福祉施設整備協議会」は、福祉関係業務を行う4つの法人が共同で新たな運営主体を設立し、特別養護老人ホーム、在宅複合施設、障害者就労支援施設ワークセンター、訪問看護ステーションの4つの事業所を同一敷地内に複合・集合させるという、これまでにないタイプの複合型福祉施設を実現したことが高く評価されました。

以上、受賞された各団体のバリアフリー、ユニバーサルデザインの推進事業は、私たちの共生社会をより豊かに発展させていくものと確信します。これらの受賞事例は、今後国内ばかりでなく海外へも広く発信されていくことが期待されます。最後になりますが、沢山の応募団体をご推薦して頂きました、都道府県・政令指定都市をはじめ全国各地の関係諸機関に改めて深く感謝申し上げます。